

実践記録（小5・体育）

1 ねらい

- ・ タブレット型 PC の動画撮影機能を活用して自分の姿を撮影することで、自分の動きを確認し、動きに対する自分の課題をつかむことができるようにする。
- ・ つかんだ課題について、タブレット型 PC とワークシートを比較しながら友達と話し合い、解決できるようにする。

2 手立て

- ・ 課題をつかむ場面（自分の動きとワークシートを見比べ、課題をつかむ活動）
課題をつかむためには、自分の動きを客観的にとらえる必要がある。そのため、タブレット型 PC の動画撮影機能を活用する。タブレット型 PC で撮影した自分の動きと、運動の一連の流れやそれぞれのポイントを示したワークシートを見比べることで、何ができていないかを確認し、自分の課題を明確につかむことができる。
- ・ 課題を解決する場面（グループでの話し合いを通して、よりよい動きを身に付ける活動）
グループになって、タブレット型 PC で撮影した動画を見ながら話し合うことで課題の達成状況を確認しやすくしたり、課題をどうすれば解決できるか話し合うことで、技能の向上につなげたりできる。

3 実践の様子

課題をつかむ場面

児童たちに「どうやったらより遠くに跳べるだろうか。グループで話し合いながら、より遠くに跳べる方法を見つけよう。」と声を掛けた。児童が自分の動きの課題を見付けるためには、自分の動きを客観的に見る必要がある。そこで、タブレット型 PC の動画撮影機能を使って自分の動きを撮影させ、自分の動きを確認させた。次に、正しい動きを確認できるように、「助走」「踏み切り」「空中動作」「着地」の一連の流れとそれぞれのポイントを示したワークシートを配布した。そして、自分の動きとワークシートを見比べさせ、自分には何ができていないかを確認させた。児童たちからは、「踏み切るときに、スピードが落ちている。」や「空中動作の時に、両腕を前に出すことができなかった。」などの声が聞かれた。タブレット型 PC で撮影した自分の動きとワークシートのポイントを見比べる中で、何ができていて何ができていないかを確認する様子が見られた。

課題を解決する場面

「助走」「踏み切り」「空中動作」の3つの課題に分けて、それぞれでグループを組ませ、タブレット型 PC の動画撮影機能を使って自分たちの動きを撮影させた。撮影した動画とワークシートに載っているポイントを見比べ、どこに気を付けて練習するとよいかを話し合いながら、より遠くに跳べる方法を考えた。児童たちからは、「助走する歩数や距離は、いつも同じ方がいいね。」や「踏み切りの時は、足裏全体を地面にしっかりとつけた方がいい。」などの声が聞かれ、タブレット型 PC を見ながら「空中動作の後半では、体を前にしっかりと曲げられているね。」と、グループみんなで課題の達成状況や解決方法を確認する様子が見られた。

めあて	「始めの記録より遠くにと」 そのために
かたち	自分にあつた助走でとぶ。
よかつた点	記録がのびた。 ポイントを見合。自分にあつた助走を見つけておこ てた。
ふり直り	空中動作に気を付けておこり。
改せん点	
児童がタブレットや話し合いを通して学んだ授業の振り返	

4 成果（○）と課題（●）

- タブレット型PCで動画撮影をすることで、児童たちは自分の姿を客観的に見ることができた。また、ワークシートに一連の流れとそれぞれのポイントを書いたことで、自分の動きとポイントを見比べ、課題を把握することができた。
- 一連の動きをワークシートに載せるだけでは、どのような練習をすれば課題を克服できるかまで考えさせることができなかった。課題を克服するための練習方法も一緒にワークシートに載せ、タブレット型PCの動画比較機能や書き込み機能などを使って話し合いをより活発にさせていく必要性を感じた。
- 同じ課題をもつグループで話し合ったため、「しっかりと斜め上に跳んでいたよ」や「踏み切る前にスピードが落ちていた」など、課題については話し合うことができたが、動画を見て具体的なアドバイスをし合うことができず、技能の向上につながらなかった。